

週報

【2020/10 第3例会】

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL：0566-75-8866
 FAX：0566-74-5678
 Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp

第3046回例会

2020年10月16日(金) 12:30~13:30

司会者：服部 敦君・大坪 久乃さん

ソング：「それでこそロータリー」

ニコボックス委員会：神谷 明文君

雑誌委員会：山口 雄史君

ゲスト及びビジター：坂田 成夫様

加藤 弘様 功労会員



2020-2021年度RIテーマ：「ロータリーは機会の扉を開く」

安城ロータリークラブ会長方針：「もっと、この街と！」

- 会長：深津 正則
- 幹事：恒川 憲一
- クラブ会報：長谷川 大祐・清水 正幸・市川 護
- 創立日：S33年1月10日
- RI加盟認証日：S33年2月6日

■ 会長挨拶

深津 正則会長

10/11 観劇同好会 御園座



10/9 新会員歓迎会 網常分店



会場監督(SAA)

SAA(SERGEANT-AT-ARMS)とは

中世ヨーロッパの宮廷で、外国の賓客を招いたレセプションが開かれた場合、その会場をとりしきる役職を模したものであり、例会場の秩序を保つためのあらゆる権限を持つ、重要な役職です。SAAが正式な役職として定められたのは1906年で、ポール・ハリス、マックス・ウォルフ、チャールズ・ニュートンがシカゴ・クラブの最初のSAAに就任しています。

審議機関としての権限しか持っていない理事会メンバーを超越した、例会場における最高の権限を持つ執行機関の役職です。

具体的職務内容

- ◎ 例会の司会進行(議長としての役割は会長の職務)
- ◎ 例会場への入場、退場許可。例会場の開門、閉門。
- ◎ 早退、遅刻の承認や拒否。
- ◎ 私語に対する警告。
- ◎ 卓話の時間励行。
- ◎ 例会場の秩序を乱す行為に対する警告と退場命令。
- ◎ 例会場の設営、テーブル配置、座席の指定。



■ 幹事報告

恒川 憲一 幹事

1. 10/23例会終了後、IM実行委員会を行います。
2. 11月の例会出欠表の提出をお願いします。
3. 愛知県警より公認アプリ「アイチポリス」の案内が来ております。
4. ゴルフ部会より 10/21(水) 第2回ゴルフコンペを行います。

■ 出席報告

野田 敏男君

会員	55名
出席義務者	44名
出席	44名
欠席	11名
出席免除者の出席	
出席率	80.00%

テーマ「地域はもう一つの学校 ～自治会活動と安城市交響楽団～」

卓話者 刈谷市一里山自治会長・社団法人安城市交響楽団代表 坂田 成夫様

【1】交響楽団経過(一部自治会長歴含む)

- 2017年3月 安城学園高等学校校長退任 学校法人安城学園退職
- 2017年4月-2017年12月 アメリカ・ヨーロッパ視察
- 2018年1月 安城市交響楽団準備スタート
- 2018年4月 刈谷市一里山自治会長就任
- 2018年6月 安城市交響楽団団員募集スタート
- 2018年8月-9月 安城市交響楽団団員オーディション
- 2018年10月1日 安城市交響楽団結成、活動スタート
- 2018年12月 安城市交響楽団特別演奏会開催(安城市民会館)
- 2019年3月 安城市交響楽団第1回定期演奏会開催(安城市民会館)
- 2019年4月 刈谷市一里山自治会長再任
- 2019年12月2日 社団法人安城市交響楽団発足(法人格取得)
- 2019年12月 安城市交響楽団第2回定期演奏会(安城市民会館 第九演奏会)
- 2020年3月 コロナ禍で3月1日より交響楽団練習全面休止
- 2020年3月 安城市交響楽団第3回定期演奏会中止(コロナ感染防止のため)
- 2020年4月 刈谷市一里山自治会長継続、刈谷市自治連合会幹事就任
- 2020年6月6日 コロナ禍ではあるが交響楽団練習再開
- 2020年8月 安城市交響楽団第4回定期演奏会中止(コロナ感染防止のため)
- 2020年12月 安城市交響楽団第5回定期演奏会開催予定(コロナ感染防止第九中止)
- 2021年8月 安城市交響楽団第6回定期演奏会開催予定 ベートーベン曲
- 2021年12月 安城市交響楽団第7回定期演奏会予定(第九中止 名フィル第九あり)
- 2022年8月 安城市交響楽団第8回定期演奏会 グスタフ・マーラー曲
- 2022年12月 安城市交響楽団第9回定期演奏会、(第九演奏会予定)
- 2023年〇月 安城市交響楽団創立5周年グスタフ・マーラー演奏会(演奏月未定)



【2】自治会活動への思いと取り組み、自治会が抱える課題

1 校長在任中から自治会長就任を打診され、退職したら引き受けたいと返事はしてあった。校長在任中から安城市内

の町内会長さんとの交流は多く、イメージをもって就任することができた 2018年4月

2 自治会長に就任した時の活動の3つのイメージ

- ①みんなが喜ぶ活動をする(自治会があってよかった、入っていてよかった)
- ②地域に変化をつくる、空気感を変える(やりたいこと、やってほしいことを集める)
- ③役員、住民を仲良くさせる(集まる機会、つながる機会を増やす)

※自治会の仕事 みんなをつなげる仕事、困ったときに相談しあえる土壌づくり

3 「つながる」という視点ですでにあった団体 2018年4月現在

- 「子ども会」(役員1年交代)「婦人会」(役員1年交代)「老人会」(役員1年交代)
- 「資源ごみ回収」毎回20人ほどが集まり毎月第1土曜日午前中に活動
- 「地域防犯パトロール」会員約30名ほど 毎月第1土曜日夕方に活動
- 「一里山の環境を育てる会」会員約30名ほど 毎月第4土曜日午前中に活動
- 「りんごちゃん」ボランティア 毎月第4水曜日 赤ちゃんの育て方交流 世話人3人
- 「グランドゴルフ愛好会」週2回早朝活動 老人会2団体 60人ほど

4 「つながる」という視点であらたに作った団体

- ①「自主防災会」(再編) 2018年6月スタート 年3回の研修会実施
- 「避難訓練実施組織」から「災害対応組織」「災害に強い人づくり・家づくり」
- 避難所訓練 家具の固定化 ブロック塀の強化 2020年10月現在40名ほど

- ② 「地域住民会議」 2018年9月スタート
9月と12月、1月に開催(年2回)地区ごとに開催(年6回ほど)
2019年度話題「ため池を生かしたまちづくり」「新設道路をどう生かすか」
2020年度テーマ「地域のこれからを考える」「未来マップづくり」
- ③ コミュニティーカフェ「おむすび」 2019年8月22日スタート
月1回 毎月第4木曜日 午前中 2019年3月からコロナのため休止中
運営団体「結の会」メンバー12人 「結の会」=地域福祉委員会
高齢者見守り活動も担当、日常から「気にかける」ことを依頼
- ④ 「子ども見守り隊 小学生登下校見守り 2019年9月1日スタート
登校、下校見守り 現在毎日たっている人7人 登録35人
- ⑤ 花いっぱい運動 地域の空き地に花を植える 2020年4月スタート
運営団体「花の里の会」メンバー10人 空き地をひまわり畑に変身、
11月からは葉牡丹畑に変身予定 3月は葉の花 各家庭へは花の苗配布
6月サルビアの花3000ポット、2月にはビオラ、パンジーを予定
- ⑥ スマホ教室 2020年9月26日スタート ラインとZOOM(次回は未定)

5 自治会の課題とそれに対する対応

地区役員のなり手が見えない 世代別面談(2020年8月、9月実施)
 老人会、婦人会の役員のなり手が見えない(役員と面談中、面談予定)
 民生委員、保護司のなり手が見えない(面談終了 民生委員がより苦労しそう)
 女性や若者が見えない(今後、若者会議、女性会議を予定)
 自治会に入らない世帯の増加(他地区では大きな悩み、対応検討中)
 地域の未来を考える組織がない(地区役員は一定の任期で交代)
 地区でのコミュニティづくりの重要性が認識されていない(国、県、社会、地区の人)
“退職後はまちづくりに、地域のために、子どもたちのために”

【3】安城市交響楽団のこれから(2020年6月20日理事会資料より)

(事業報告より抜粋)

2018年10月に交響楽団が発足し、その年の12月に発足記念特別演奏会を公演したことから、12月公演は固定公演となっています。その後、年2回程度の定期演奏会の開催を目指して、年度末の3月に第1回定期演奏会を開催しましたが、12月と3月の期間が短いことから、8月と12月案について話し合われてきました。2019年度は8月の定期演奏会を10月に公演する第9プレコンサートに振り替えて実施することとし、12月公演は第2回定期演奏会の位置づけで第九特別演奏会を公演することとなりました。プレコンサートは台風の影響で中止を余儀なくされましたが、創立1周年という短期間で12月に第九公演を無事に終えることができました。

第九は合唱団の存在が欠かせないことから合奏団の募集を春先からスタートするとともに、安定した練習環境を整備するためのホールの申請や支払い指導者の手配などが夏前までには完了しました。記者会見や公開練習、新聞広告掲載などの広報活動

や応援企業への協賛へのお願い、メインスポンサーの獲得などの協賛などの対外的な体制も整う中で練習も順調に進み、12月には安城市にある交響楽団としては初めて第九を満席に近い来場者のかたが観ていただけるなかで公演することができました。

年度末には第3回定期演奏会として、安城市と姉妹都市であるデンマークのコリングの音楽学校から若手演奏家を招聘しての協奏曲を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止判断となりました。よって、当年度は3月の活

動を全面的に中止とし、団費もいただいていない状況で終えました。

(事業計画より抜粋)

定期演奏会を3月・12月の2公演から、8月・12月の2公演へ移行したため、今年度は8月に第4回定期演奏会を、12月に第5回定期演奏会を予定しました。

12月公演は「第九」公演を予定しておりましたが、依然コロナ禍にあり、8月公演を中止し、8月公演のプログラムをそのまま12月に移行する形で第5回定期演奏会を公演する予定でいます。

6月の通常練習から順次活動を開始するため、今年度の4月・5月の活動は全面中止となり、その分の団費は頂かないこととしています。よって、予算も10か月分の予算と定期演奏会1回を前提とした再編成を行いました。

また、入団の方法やサポーターの入会方法や在会中の取り扱い方法について、コロナ化で活動が自粛中の今だからこそ、改善できる部分を改善していきたいと考えています。

(今後の方針について)

安城市交響楽団創立5周年(2023年度)に向けた企画として三河マーラーフェスティバル(MMF)を提案していきたいと考えています。クラシック音楽の最高峰として孤高のマーラーは全9曲の交響曲を作曲しています。

このマーラーの交響曲と関連する合計12曲の交響曲を、三河に点在する交響楽団の協力を得て毎月1回の12ヶ月(1年)をかけてリレーコンサートを実施しようとするものです。名古屋ではアマチュアとしては日本で初めてこのプロジェクトを約10年前に達成しています。そのため、名古屋のオーケストラに頼らない、三河の芸術文化を発信するとともに三河の文化力を高める可能性に挑戦するものです。

安城市交響楽団は2023年10月に発足5周年を迎えます。そのため、6月から10月までの間に企画書や具体的な組織の構築や各協楽団への協力依頼や安城市交響楽団のトレーナー・楽器店・音楽事務所にアプローチをかけ、現実的な組織の概案を作りたいと思います。

10月から2021年10月までの1年間で会場取りや出演者の調整や合唱団・ソリストの手配・広報媒体や協賛募集や出演団体による実行委員下での打ち合わせを重ねるなどを1年間かけて取り組み、2022年10月からフェスティバルをスタートし、2023年10月にフィナーレとなるコンサートに取り組みたいと思います。

この活動を通して、安城市交響楽団が三河のオーケストラのフラグシップオーケストラとして認識されるような取り組みとすることと共に、交響楽団の団員の獲得や演奏技術の向上にも取り組みを高めていきたいと考えています。

《基本構想》

MMF実行委員会の発足(概案や必要様式、予算の検討)↓

音楽事務所・各交響楽団に依頼・合奏連盟等に打診↓

広報・スポンサー・協賛企業との外郭の構築

各交響楽団からの委員を加えた実行委員会を再編↓

プログラム・演奏順・練習日を決定する実行委員会

広報・予算・参加費・賛助・備品類などの事務処理を申し合わせる事務連絡会議↓

フェスティバルオーケストラの選抜・推薦方法の決定

募集・編成調整・編成決定・通知

※安城市交響楽団にかかわる人たち(2020年度10月1日現在)

理事役員8人 指導スタッフ13人 団員45人 個人サポーター81名

企業団体サポーター56社 そして家族、友人、学校の先生、同じ演奏仲間、音楽仲間、地域の方々たち

【おわりに】

※安城市交響楽団 順調に育っていくと思う

目標を高く:演奏レベルの高い楽団をめざす

指導スタッフの充実:プロ奏者またはプロを目指す人、現在13人

管理面・資金面での応援:サポータースタッフ 理事8人、個人サポーター現在81名

設立の趣旨が明確(音楽の溢れる子どもたちが生き生きと育つまちをつくる):

地域との連携、他団体との交流、プロ演奏者との交流、海外との交流)

※自治会活動、町内活動 日本全体では最も重要な政治課題の一つ

高齢者問題、ひきこもり、不登校、虐待、自殺など日本が抱える問題のいくつかは自治会や町内会活動で解決できるものがある。救われる人がいる。自治会活動、町内会活動を再度重要な組織として位置付けたらどうか。

問題は役員的位置付けである。特別公務員として位置付け、一定の報酬を支払うことにしたらどうか(現在はほとんどがボランティア活動)